

製品安全データシート

作成 2008/06/06
改訂 2011/08/01
改訂 2012/06/01

製品名 : エコデクリーン-M

1. 製品及び会社情報

製品名 : エコデクリーン-M
会社名 : リンク・アンド・シェア・オペレーションズ株式会社
住所 : 〒982-0244 宮城県仙台市太白区秋保町馬場字町北49-2
TEL 022-399-5051 FAX 022-399-5052
担当者 : 中野 勝則
緊急連絡電話番号 : 同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外
可燃性/引火性ガス : 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール : 分類対象外
支燃性/酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 区分外
可燃性固体 : 分類対象外
自己反応性化学品 : 分類対象外
自然発火性液体 : 区分外
自然発火性固体 : 分類対象外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 分類対象外
酸化性液体 : 分類対象外
酸化性固体 : 分類対象外
有機過酸化物 : 分類対象外
金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 区分外
急性毒性(蒸気) : 区分外
急性毒性(吸入:ミスト) : 区分外
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性(急性) : 区分外
水性環境有害性(慢性) : 区分外

GHSラベル要素

: なし

注意喚起語

: なし

【最重要危険有害性】

人体に対する有害な影響 : 目に入ると低刺激
環境影響 : 生分解性良好
物理的及び化学的危険性 : 特になし
化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない

危険有害性情報 : 眼への刺激

注意書き : 使用前に安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用する事。

3. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名 : ポリオキシアルキレンアルキルエーテル
ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド(1.5%)
食添エタノール (補助剤)0.5%

成分及び含有量 : 主剤 5.5%
補助剤 食添エタノール 0.5%

CAS No : 64-17-5 (食添エタノール)

P R T R 法 : 該当物質なし

化 審 法 : 2-202(食添エタノール)

安 衛 法 : 政令番号61(エタノール)

消 防 法 : 該当物質なし

土壌汚染対策法 : 該当物質なし

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動させ安静にさせる。
目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、刺激がある場合は、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水又は温水で洗い落とす。皮膚に異常が出た場合は、必要に応じて
医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受ける。
応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。

5. 火災時の措置

消 火 剤 : 指示はない。
消 火 方 法 : 不燃物である。周辺火災の場合、速やかに安全な場所に移す。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業時には
煙の吸入を避ける。
消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏出時の処理を行う際には、必ず簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等を着用すること。
環境に対する注意事項：多量の場合は、河川への流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法：少量の場合は、水で洗い流す。多量の場合は、空容器に出来るだけ回収し、ウエス等で拭き取った後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱及び保管上の注意

- 取 扱：簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用する。
保 管：直射日光下・30度以上の高温になる場所を避け密栓し、屋内に保管する。
氷点下で凍結するので、冬期は凍結しない場所に保管する。
一度開封された容器は、注ぎ口をきれいに拭き取り、完全密封して保管する。
保 管 量：備蓄量の制限はない。
保存期間：目安として1年間以内に使い切る。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設 備 対 策：特に設定なし
管 理 濃 度：設定なし
許 容 濃 度：設定なし
日本産業衛生学会：設定なし
ACGIH：設定なし
保 護 具：必要に応じて簡易マスク、ゴム手袋、長靴、防護メガネ等を使用する。
使用後は水洗浄すること。

9. 物理的及び化学的性質

【外 観】

- 物理的状態：液体（常温）
色：無色透明
臭 い：微かな薬品臭
pH：7.0～7.3（15℃）

【物理的状態が変化する温度】

- 沸 点：100℃
引 火 点：引火せず
発 火 点：発火せず
爆 発 限 界：下限、上限とも設定なし
比 重：1.02（25℃）
粘 度：5.1Pa・s（15℃）

【溶 解 性】

- 水：水溶性、軟水、硬水で性能不変
その他の溶媒：設定なし

10. 安定性及び反応性

- 安 定 性：酸・アルカリに安定。他の洗剤、溶剤に可溶安定。
反 応 性：特になし
避 け る べ き 条 件：30度以上の場所に長時間放置しないこと。
避 け る べ き 物 質：特になし
危 険 有 害 分 解 生 成 物：特になし

11. 有害性情報

- 急 性 毒 性：LC50 360mg/L（（財）日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ）
皮 膚 腐 食 性・刺 激 性：データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性：データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性：データなし
生 殖 細 胞 変 異 原 性：データなし
発 がん 性：データなし
生 殖 毒 性：データなし
特定標的臓器・全身毒性 単回暴露：データなし
特定標的臓器・全身毒性 反復暴露：データなし
吸 引 性 呼 吸 器 有 毒 性：データなし

12. 環境影響情報

- 移動性 : 物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動しうる。
残留性 / 分解性 : 生分解度77%以上(OECD化学物質テストガイドラインによるDOC法)
魚毒性 : LC50 360mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)
その他のデータ : データなし

-
13. 廃棄上の注意 : 100倍以上の希釈処理の上廃棄。あるいは、産業廃棄物処理業者に委託。
空容器を廃棄する場合は、内容物を処理した後処分する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 該当なし
国連分類 : 該当なし
国連番号 : 該当なし
輸送の特定の安全対策 : 「7. 取扱及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。
及び条件 : 運搬に際しては、容器から漏れがない事を確かめ、転倒・落下・損傷などに注意して積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
海上輸送及び航空輸送 : 非危険物につき混載可。

-
15. 適用法令 : 該当なし

-
16. その他の情報 : 本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。